

## CES 活動ニュース

### 1. “通常総会” が開催されました。

平成 25 年度「通常総会」は、去る 5 月 15 日（水）に開催されました。

ご承知のように、CES 推進協議会は、平成 20 年 4 月に設立総会をスタートさせ、今年度で 6 回目の総会となります。この間毎年度、会則に基づく事業目的・方針の実現に向け、活動を行ってまいりました。そして現在、予算規模においては、設立当初の 2.3 倍を超える伸びで、事業活動の活発化が伺えるまでになってまいりました。

昨年度においては、正会員並びに賛助会員をはじめとした関係各位のご支援ご協力により、予定の事業計画を滞りなく進めることができました。また収支決算においても、予定した範囲内での執行により、収支差額を次年度に繰り越すことができました。

平成 25 年度事業においては、「クラス I」事業では、従来の活動の更なる啓発を促すための企画や、活動の活性化を図るための新しい事業計画について「環境リーダー会」を中心に具体化し、積極的な取組みが期待されます。

また、「クラス II」事業では、新しい「システム」の構築を目指した検討を、「クラス III」事業では、新たな活動参加事業所の拡大を目指し、CES を挙げて取り組むことが承認されました。

今年度も、会員はじめ関係各位の皆様には、一層のご支援・ご協力のほど お願い申し上げます。



各クラス活発に事業を進めてまいります

### 2. 第 1 回クラス II・III 推進部会を開催

今年度の第 1 回クラス II・III 推進部会が開催され、以下の事柄が審議・承認されました。

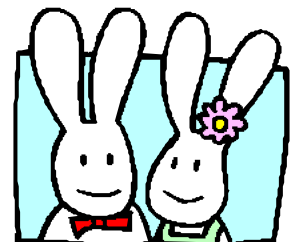
- ① 「クラス II ガイド」に代わる「新しい活動システム」の構築検討委員会の開催
- ② 平成 25 年度「クラス III ガイド」に基づく監査活動の実施及び、参加事業所拡大のための活動
- ③ 監査活動にかかる「監査様式」の見直し、修正
- ④ CES の啓発並びに、会員獲得を目的とした「セミナー」の開催

本部会は、5 月 28 日（火）午前 10 時から 12 時まで、区役所 6 階会議室で行われ、以上の各々のテーマについて、建設的な意見や積極的な提言等があり、今後の事業活動計画に有意義な会議となりました。

### 3. 第 2 回環境リーダー会議を開催

第 2 回環境リーダー会は、去る 5 月 22 日（水）に開催され、今年度事業における、各種企画テーマの具体化に向けた事柄について検討されました。

今年度初めてとなるのは、「CES・さくら咲くプロジェクト」（通称：さくさくプロジェクト）と云う企画です。これまでとは違った新しい試みの企画で、



出会いのエコツアーで CES の輪を

その目的は、「若い世代に対する環境啓発」です。

第1弾は、「ときめき・出会いの千代田エコツアー・夏編-1」として7月20日(土)に、同じく「夏編-2」として8月28日(水)に実施いたします。

詳しくは、追って「広報千代田」及び、CES推進協議会の発行するチラシ等でご案内します。

・・・若い世代の男女の皆さんのご参加をお待ちしております。乞うご期待！

#### 4. 千代田区「環境・リサイクル祭り」に出展します

CES推進協議会では、区が主催する「環境・リサイクル祭り」に今年も出展します。

「環境・リサイクル祭り」は、千代田区環境月間イベントの一つとして、環境の大切さをより多くの方に知っていただくため、区民、事業者、行政などの各主体が協働して、区民一人ひとりが自らの生活を見直し、環境に配慮したライフスタイルや行動を促すきっかけの提供を目的とするものです。

CES推進協議会のブースでは、「自然素材を使った大人も子供も楽しく学べる」をコンセプトに「押し花」、「落ち葉」等を使った参加型の出展になります。併せて、パネル等によるCES活動の紹介を予定しています。

期日は6月14日(金)10:00~15:30、場所は千代田区役所1階 区民ホールにて。会場では様々な展示・体験コーナーや、ゴーヤ苗・肥料の配布(先着100名)などもありますので、皆様ぜひお越しください。

詳しくは千代田区ホームページ「環境・リサイクル祭り」(下記)をご覧ください。

<http://www.city.chiyoda.lg.jp/koho/event/h250614-02.html>



#### 5. 「CES推進協議会」の表現を『千代田エコ』推進協議会に！

CES推進協議会はこれまで、クラスI、クラスII・III活動等を通じてその知名度を図ってきたところです。

しかし残念ながら、「CES」とはどのような組織体であるかなど、関係先をはじめ、一般的にも周知しきれておらず、また、「シー・イー・エス」という表現は、ややなじみにくいなどの批判がありました。

そこで、より明確で親しみやすくするため、「CES推進協議会」の読みを『千代田エコ』推進協議会とすることが、過般の役員会で提案されました。

本来CESは、「Chiyoda Eco System」の略称であり、「推進協議会」も同じくSから始まる(Suishinkyougikai)単語のため、このような表現となりました。

「CES」の名称はそのまま維持いたしますが、「CES推進協議会」を“千代田エコ推進”とご周知いただければ幸いです。



## かんきょう

CESでは、「マイ箸」「マイバック」など、身近で日常的なエコ活動の実践を奨励し、去年は、クラスI活動として、6月18日（月）、19日（火）の両日に「マイ箸・箸袋・バッグを作ろう」を実践しました。

ここで「箸に関するクイズ」です！

外食にも、コンビニ弁当にも欠かせない「割り箸」ですが、1年間に、日本国内で消費される「割り箸」の量は、およそ何膳分位だと思いますか・・・？

A：120億膳

B：240億膳

C：360億膳

（答えは最後に）

・・・いずれにしても、途方もない量です。

仮に、1人の人が毎日新しい割り箸で食べ続けたとすると、100万年以上は、使える数だそうです。

今では、割り箸の多くは中国からの輸入で、9割を占めているそうです。20年ほど前までは、約50%が国内の間伐材等で、残り半分が、アメリカや韓国、中国、インドネシアなどからの輸入だったそうです。

かつては、木材の輸入量のうち、「割り箸」が占める割合はわずか0.1%で、森林破壊とは必ずしも言えない量だったようですが・・・。

ところで中国では、「割り箸」を作るため森林を伐採しても、その後植林も行わないようで・・・情報によれば2008年から、森林保護のため「割り箸」の輸出を禁止したそうです。

今後「弁当を買っても箸がない」・・・など、「省エネ」ならぬ「省箸（はし）生活」になるかも。

（クイズの答え：Bでした。）

